

1年生9名 毎日元気いっぱいです！



閑馬小だより



発行 閑馬小学校
責任者 亀田 哲夫

感謝・誇り・希望の年

校長 亀田 哲夫

いよいよ令和元年度、閑馬小学校の教育活動が始まりました。今年度は閑馬小学校最後の年、閉校を迎えることとなります。ことわざにも「有終の美を飾る」「終わりよければすべてよし」などがあるように、物事は締めくくりに大事であると思います。

そこで、子どもたちに「多くの方々への感謝を忘れず、閑馬小で学んだことを誇りに、希望をもって新しい道へと進んでいけるようにしましょう。」という話をしました。

【感謝（過去）】

私たちは、直接何かしてくれた人や物に感謝をすることはできませんが、いつもの決まった生活を過ごしていると、当たり前の物事に感謝を忘れてしまうことがあります。さらに、今の当たり前は、過去において多くの方々の支えがあって存在していることに気付きません。子どもたちに今の環境や自分が身に付けてきたことをふり返らせながら、一生懸命に教育活動に取り組む姿を地域の方々を示すことで、閑馬小学校と地域への感謝の心を表したいと思います。

【誇り（現在）】

子どもたちが誇りをもつためには、仲間や教職員、保護者、地域の方々に「認められている」という実感が必要です。子どもを取り巻く多くの人との関わりの中で、行動や考えが認められてこそ、自尊心が生まれます。この誇りが、閉校した後も閑馬地区への愛着につながると思います。

【希望（未来）】

来年度四月から子どもたちが学ぶ「あそ野学園義務教育学校」は、単に小学校と中学校をひとつにした学校ではありません。佐野市始まって以来の義務教育学校で、その教育理念から全く新しい学校です。閑馬小児童は、その新たな学校の歴史を刻む一員となるのです。閉校年度の教職員として、子どもに、期待と希望がもてるよう励ますとともに、スムーズにつなげるための準備を整えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。